

～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 14

令和3年 7月28日発行 袋井市幼児教育センター

自分から あいさつ をします



「おはよう」子ども同士で朝のあいさつを交わし合います。

袋井の幼児教育で
育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	(1)自立心
		(2)道徳性 規範意識の芽生え
		(3)健康な心と体
		(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	(5)自然との関わり・生命尊重
		(6)言葉による伝え合い
		(7)協同性
基礎・思考・表現となる力	考える・やってみる	(8)思考力の芽生え
		(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
		(10)豊かな感性と表現

大人は子どものお手本です

「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」などのあいさつや「はい」の返事は、人と心地よく関わる大切な言葉です。

大人は、子どもにあいさつや返事ができる子になってほしいと願います。大人がお手本となる姿を見せることであいさつを交わす心地よさと大切さを学んでいきますので、子どもがあいさつする姿を認めたり褒めたりして喜びや自信につなげていきます。自信がもてることで自分からあいさつをするようになります。



感謝の気持ちを込めて「いただきます」をします。

あいさつの習慣は幼児期に培われます

毎日先生が子どもたちと目を合わせながら笑顔であいさつするのは、「今日も元気に来てくれてうれしいよ」のサインです。親しみのあるあいさつを受けることで、子どもは安心して自分の思いを伝えたり、やりたい遊びに取り組んだりすることができます。

園では遊びの中で、場面に応じたあいさつを考え合ったり教え合ったりして学んでいきます。こうして幼児期に培った経験は、その後の学校や社会で生活していくための土台となります。



「ごめんください」「いらっしゃいませ」ごっこ遊びを通してあいさつが育まれます。

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。

袋井市教育委員会 幼児教育センター 86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

